

秋田県立美術館

平野政吉コレクション I

秋田市の資産家・平野政吉は、生涯を賭けて美術品を蒐集しました。平野の蒐集を支えたのが、画家・藤田嗣治とともに構想した美術館建設の夢でした。

パリにおいて、乳白色の裸婦像で脚光を浴びた藤田は、中南米を歴訪後、1933(昭和8)年11月に帰国、東京にアトリエを構えます。二科会会員となり、ブラジルやメキシコに取材した作品などを発表、また東京、大阪、京都で壁画を制作しました。1934(昭和9)年秋の二科美術展の会場では、藤田と平野がはじめて挨拶を交わしています。

藤田の妻・マドレーヌの死を契機として、平野は、1936(昭和11)年7月、秋田にマドレーヌ鎮魂の美術館を建てることを提案します。藤田は、この美術館のために、《眠れる女》、《五人女》などの大作を平野に譲渡し、1937(昭和12)年3月には、壁画《秋田の行事》を平野家の米蔵で制作しました。

平野と藤田が構想し、設計に関わった美術館は、着工したものの、戦時体制下、建設が中止となります。しかし、平野と藤田の夢は、約30年を経て、1967(昭和42)年5月、平野政吉コレクションの展覧を目的とする秋田県立美術館の開館で実現しました。

本展では、平野政吉コレクションの中から、美術館での展示を予定して藤田が平野に譲渡した作品を中心にご紹介します。

藤田嗣治作品

作品名	作成年	サイズ (cm)	材質	所蔵
秋田の行事	1937年	365.0 × 2050.0	油彩・キャンバス	公益財団法人 平野政吉美術財団
壁画の素描 (太鼓 天の川)	1936年	32.4 × 26.4	鉛筆・紙	公益財団法人 平野政吉美術財団
壁画の素描 (竿燈)	1936年	25.9 × 34.8	鉛筆・紙	公益財団法人 平野政吉美術財団
壁画の素描 (ボンデン)	1936年	35.0 × 25.4	鉛筆・紙	公益財団法人 平野政吉美術財団
壁画の素描 (舞台)	1936年	26.0 × 24.0	鉛筆・紙	公益財団法人 平野政吉美術財団
自画像	1936年	127.7 × 191.9	油彩・キャンバス	公益財団法人 平野政吉美術財団
五人女	1935年	192.5 × 128.5	油彩・キャンバス	公益財団法人 平野政吉美術財団
眠れる女	1931年	74.4 × 125.0	油彩・キャンバス	公益財団法人 平野政吉美術財団
一九〇〇年	1937年	144.0 × 110.5	油彩・キャンバス	公益財団法人 平野政吉美術財団

平野家の米蔵 (壁画制作現場) 再現模型 -縮尺10分の1-

平野政吉コレクション I

会期：2015年4月1日(水)～5月7日(木)
会場：秋田県立美術館 2F 大壁画ギャラリー
主催：公益財団法人 平野政吉美術財団